

# 認知症がん患者の自立と がん相談支援センターの 役割を考える

令和3年

11月13日(土)

13:30~16:45 受付開始  
12:30~

## プログラム

### 講演 1

#### 認知症がん患者の意思決定を支える - 医療者対応力向上の視点から -



国立がん研究センター東病院  
精神腫瘍科長 小川 朝生 先生

1999年大阪大学医学部卒、2004年大阪大学大学院医学系研究科卒業のち、国立病院機構大阪医療センター神経科医員を経て、2007年国立がんセンター東病院精神腫瘍科医員、2009年同臨床開発センター精神腫瘍学開発分野心理社会科学室長、2013年より現職。主に、高齢がん患者の支持療法、急性期医療における認知症ケアを扱う。  
日本サイコoncロジー学会理事、日本緩和医療学会理事

### 講演 2

#### 認知症がん患者の意思決定を支える - 自立を支える視点から -



弁護士法人マエストロ  
代表弁護士 松井 章義 先生

第二東京弁護士会所属  
第二東京弁護士会高齢者障がい者総合支援センター運営委員会 副委員長  
東京大学法学部卒業  
都内医療機関の法律相談において、多くのがん患者や認知症患者の抱える悩みや問題の解決とサポートに取り組んでいる。

### ディスカッション

講師の先生方に加えて、第二東京弁護士会高齢者障がい者総合支援センター運営委員会より、弁護士の藤田裕先生、長尾愛女先生、津波朝日先生も参加し、皆様と一緒に認知症がん患者への支援を考えます。

超高齢化社会の中で、認知症がん患者への相談支援の重要性が増えています。認知症の程度によって細やかな対応が必要になる中、より良い意思決定支援のために、わたしたちがん専門相談員は、なにができるのでしょうか。

今回は、講義とディスカッションを通して保護的な目線だけでなく「自立を支える」目線を意識したアセスメントや連携、制度活用の実際を学び、がん相談支援センターの役割を考えます。

対 象： がん専門相談員  
定 員： 150名 他県からの応募が多い場合は調整させていただきます  
開 催： オンライン (Cisco Webex)  
参加費： 無料

お 申 込： 下記サイトからお申込み下さい

[https://contact.ganjoho.jp/form/pub/ganjoho/forum\\_syutoken](https://contact.ganjoho.jp/form/pub/ganjoho/forum_syutoken)

※同施設から複数人ご参加の場合も  
お一人ずつお申込み下さい



申込期間：10月1日(金)~10月22日(金)

お問合せ：

東京都がん診療連携協議会 事務局  
03-3823-2101 (駒込病院代表)

【主催】 東京都がん診療連携協議会 相談・情報部会

【後援】 埼玉県・神奈川県・東京都

千葉県がん診療連携協議会

国立がん研究センター がん対策情報センター